

職業実践専門課程等の基本情報について

学校名		設置認可年月日		校長名		所在地																															
専門学校 九州スクール・オブ・ビジネス		昭和58年3月29日		渡邊 恵未		〒 812-0011 (住所) 福岡県福岡市博多区博多駅前3-8-24 (電話) 092-474-9231																															
設置者名		設立認可年月日		代表者名		所在地																															
学校法人Adachi学園		昭和42年1月12日		安達 暁子		〒 101-0062 (住所) 東京都千代田区神田駿河台2丁目11番地 (電話) 092-474-9231																															
分野	認定課程名		認定学科名		専門士認定年度	高度専門士認定年度	職業実践専門課程認定年度																														
商業実務	ビジネス専門課程		ペットビジネス学科		平成21(2009)年度	-	平成26(2014)年度																														
学科の目的		卓越した又は熟達した実務の知識・経験に基づく高度の専門的かつ実践的な知識・技術等を教授し、職業に必要な実践的な能力を育成することを目的とする。																																			
学科の特徴(取得可能な資格、中退率等)		モデル犬は全て外部より招致しており、より実践的な授業を行なっております。コミュニケーションスキルをつけるため、サービス接遇などの授業も多様に取り入れています。(昨年度中途退学率:4.7%)																																			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数		講義	演習	実習	実験	実技																													
2年	昼間	※単位時間、単位いずれかに記入		1,920 単位時間 単位	288 単位時間 単位	4,096 単位時間 単位	単位時間 単位	単位時間 単位	単位時間 単位																												
生徒総定員	生徒実員(A)		留學生数(生徒実員の内数)(B)		留學生割合(B/A)																																
80人	141人		1人		1%																																
就職等の状況	<p>■卒業者数(C) : 48人</p> <p>■就職希望者数(D) : 46人</p> <p>■就職者数(E) : 41人</p> <p>■地元就職者数(F) : 32人</p> <p>■就職率(E/D) : 89%</p> <p>■就職者に占める地元就職者の割合(F/E) : 78%</p> <p>■卒業者に占める就職者の割合(E/C) : 85%</p> <p>■進学者数 : 0人</p> <p>■その他</p> <p>アルバイトをしながら継続して就活 (令和4年度卒業者に関する令和4年5月1日時点の情報)</p> <p>■主な就職先、業界等 (令和4年度卒業生) イオンペット株式会社/株式会社ピースパ/株式会社AHB/警察犬訓練所/動物病院など</p>																																				
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: ※有の場合、例えば以下について任意記載				無																																
当該学科のホームページURL	https://www.kva.ac.jp/course/photo/																																				
企業等と連携した実習等の実施状況(A、Bいずれかに記入)	<p>(A: 単位時間による算定)</p> <table border="1"> <tr><td>総授業時数</td><td>4,064 単位時間</td></tr> <tr><td>うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数</td><td>単位時間</td></tr> <tr><td>うち企業等と連携した演習の授業時数</td><td>384 単位時間</td></tr> <tr><td>うち必修授業時数</td><td>384 単位時間</td></tr> <tr><td>うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数</td><td>単位時間</td></tr> <tr><td>うち企業等と連携した必修の演習の授業時数</td><td>384 単位時間</td></tr> <tr><td>(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)</td><td>単位時間</td></tr> </table> <p>(B: 単位数による算定)</p> <table border="1"> <tr><td>総授業時数</td><td>単位</td></tr> <tr><td>うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数</td><td>単位</td></tr> <tr><td>うち企業等と連携した演習の授業時数</td><td>単位</td></tr> <tr><td>うち必修授業時数</td><td>単位</td></tr> <tr><td>うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数</td><td>単位</td></tr> <tr><td>うち企業等と連携した必修の演習の授業時数</td><td>単位</td></tr> <tr><td>(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)</td><td>単位</td></tr> </table>									総授業時数	4,064 単位時間	うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数	単位時間	うち企業等と連携した演習の授業時数	384 単位時間	うち必修授業時数	384 単位時間	うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数	単位時間	うち企業等と連携した必修の演習の授業時数	384 単位時間	(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)	単位時間	総授業時数	単位	うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数	単位	うち企業等と連携した演習の授業時数	単位	うち必修授業時数	単位	うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数	単位	うち企業等と連携した必修の演習の授業時数	単位	(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)	単位
総授業時数	4,064 単位時間																																				
うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数	単位時間																																				
うち企業等と連携した演習の授業時数	384 単位時間																																				
うち必修授業時数	384 単位時間																																				
うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数	単位時間																																				
うち企業等と連携した必修の演習の授業時数	384 単位時間																																				
(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)	単位時間																																				
総授業時数	単位																																				
うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数	単位																																				
うち企業等と連携した演習の授業時数	単位																																				
うち必修授業時数	単位																																				
うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数	単位																																				
うち企業等と連携した必修の演習の授業時数	単位																																				
(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)	単位																																				
教員の属性(専任教員について記入)	<table border="1"> <tr> <td>① 専修学校の専門課程を修了した後、学校等においてその担当する教育等に従事した者であって、当該専門課程の修業年限と当該業務に従事した期間とを通算して六年以上となる者 (専修学校設置基準第41条第1項第1号)</td> <td>2人</td> </tr> <tr> <td>② 学士の学位を有する者等 (専修学校設置基準第41条第1項第2号)</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>③ 高等学校教諭等経験者 (専修学校設置基準第41条第1項第3号)</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>④ 修士の学位又は専門職学位 (専修学校設置基準第41条第1項第4号)</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>⑤ その他 (専修学校設置基準第41条第1項第5号)</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>3人</td> </tr> </table> <p>上記①～⑤のうち、実務家教員(分野におけるおおむね5年以上の実務の経験を有し、かつ、高度の実務の能力を有する者を想定)の数</p> <p>3人</p>									① 専修学校の専門課程を修了した後、学校等においてその担当する教育等に従事した者であって、当該専門課程の修業年限と当該業務に従事した期間とを通算して六年以上となる者 (専修学校設置基準第41条第1項第1号)	2人	② 学士の学位を有する者等 (専修学校設置基準第41条第1項第2号)	0人	③ 高等学校教諭等経験者 (専修学校設置基準第41条第1項第3号)	0人	④ 修士の学位又は専門職学位 (専修学校設置基準第41条第1項第4号)	0人	⑤ その他 (専修学校設置基準第41条第1項第5号)	1人	計	3人																
① 専修学校の専門課程を修了した後、学校等においてその担当する教育等に従事した者であって、当該専門課程の修業年限と当該業務に従事した期間とを通算して六年以上となる者 (専修学校設置基準第41条第1項第1号)	2人																																				
② 学士の学位を有する者等 (専修学校設置基準第41条第1項第2号)	0人																																				
③ 高等学校教諭等経験者 (専修学校設置基準第41条第1項第3号)	0人																																				
④ 修士の学位又は専門職学位 (専修学校設置基準第41条第1項第4号)	0人																																				
⑤ その他 (専修学校設置基準第41条第1項第5号)	1人																																				
計	3人																																				

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

教育課程の編成については、企業等と定期的に会議等を通じて意見交換を行なう。編成改善を行なう協議内容は、授業教科目の名称や授業内容・方法の改善・工夫をはじめ、業界の動向をふまえ、働く為に必要とされる科目設定・授業内容等とし、授業方法は演習型授業(知識・技術)を主体に行なう。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

学校教育法第133条、並びに学校教育法施行規則189条、及び学校法人Adachi学園理事会の決議に基づき、教育課程編成委員会を置く。この委員会は、教育の質の保証及び改善をするため、専門学校九州デザイナー学院の教育活動の状況に関する評価を行い教育活動の更なる躍進の為活動をするものである。教育課程編成委員会が出された意見を基に、専任教員で行う学務会議で其々の意見を審議し、即時対応できるものは学科長がカリキュラムやスケジュールに落とし込む。校長及び学科担当で、学科間の調整を図り、各学期の始めに行われる講師会及び各学科の分科会で、学校・学科の方向性を示し、授業に反映させていく。問題が生じた場合は随時対応し、より良いものに変更を加えていく。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和4年10月1日現在

名前	所属	任期	種別
児嶋 秀夫	公益財団法人 九州盲導犬協会	令和3年4月1日～ 令和5年3月31日(2年)	①
坂本 恵理	株式会社ビースパサプライ マネージャー	令和3年4月1日～ 令和5年3月31日(2年)	③
渡邊 恵未	九州スクール・オブ・ビジネス 学校長	令和3年4月1日～ 令和5年3月31日(2年)	—
吉満 文人	専門学校九州スクール・オブ・ビジネス ペットビジネス学科長	令和3年4月1日～ 令和5年3月31日(2年)	—
山本 重春	九州スクール・オブ・ビジネス 学生管理部	令和3年4月1日～令和5年3月 31日(2年)	—

※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。
(当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「—」を記載してください。)

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年間2回開催(毎年5月、11月)

(開催日時(実績))

第1回 令和4年5月23日(月) 14:00～15:30 オンライン開催

第2回 令和4年9月22日(木) 14:00～15:30 オンライン開催

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

第一回

質問:カット等の技術向上だけではなく、ペットショップでは接客に於ける能力も十分に学べるのか。

回答:全国の系列姉妹校間で接客コンテスト開催している。このことで、学生の意識は接客面にも意識が高まるようになり、大会で受賞する学生も出てきている。

第二回

質問:専門学校にはPCスキル(カルテや資料作成)の向上を期待している。

回答:オフィス(Ward・Excel)が使えるようにPCの時間を導入し指導しているが、今後は時間数増を検討していきたい。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1) 実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

ペット業界のみでなく、サービス、PCスキルの知識・技術向上を目的とし、より業界の求める人材育成のために、企業の方に制作課題を設定して頂き、実践的な演習型授業を行った上で、技術や対応能力の向上を図る。

(2) 実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

業界が求める技術レベルや人材を育てるため、実践学習を通し、業界の方から学生への指導に必要な課題内容の検討、今後の業界の動向などの意見交換を行い、カリキュラムへ取り入れる。

(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
企業研修Ⅰ	学校で学んだ知識や技術を、企業の現場で体験し企業の人に実践の知識・技術を学ぶ	(株)ピースパ
企業研修Ⅱ	学校で学んだ知識や技術を、企業の現場で体験し企業の人に実践の知識・技術を学ぶ	五条ペット

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

教育の質を客観的に保証するために、経済・産業界・放送業界の動向・人材需要に即し、最新の実務の知識・経験に基づく実践的な知識・技術を教授すべく適切に教員に対する研修等を、教職員研修規定により行なう。

(2) 研修等の実績

① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名:	センターオープンデイ	連携企業等:	福岡県動物愛護センター
期間:	2022年6月19日(日)	対象:	教員・学生
内容:	センターの動物愛護事業や登録譲受団体の活動を広く知っていただくため開催		
研修名:	愛玩動物飼養管理士スクーリング	連携企業等:	社団法人 日本愛玩動物協会
期間:	2022年7月8日(金)	対象:	教員・学生
内容:	動物愛護の普及啓発		
研修名:	第21回アジア獣医師会連合(FAVA)大会	連携企業等:	公益社団法人 日本獣医師会、Jアジア獣医師会連合
期間:	2022年11月13日(日)	対象:	教員・学生
内容:	アジアからワンヘルスアプローチ		

② 指導力の修得・向上のための研修等

研修名:	ハラスメント研修(動画教材・eラーニングコンテンツを使用)	連携企業等:	Adachi学園グループ
期間:	2022年8月1日(月)～8月5日(金)の期間内	対象:	教職員
内容:	ハラスメントの理解を深め、個人と組織としてのハラスメント防止対策について身につけることを目的。		
研修名:	人権・同和研修	連携企業等:	福岡県・学事課、専修学校協会
期間:	2022年11月29日(火)15:00～16:30	対象:	教職員
内容:	「人権尊重の理念」～「可能性」に応えるために～ 水平社から同和教育、いじめ・人種差別など		
研修名:	人権・同和研修	連携企業等:	福岡県・学事課、専修学校協会
期間:	2023年2月15日(水)15:00～16:30	対象:	教職員
内容:	パワーハラスメント防止措置の義務化 および改正育児・介護看護法 グループディスカッション		

(3) 研修等の計画

① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名:	センターオープンデイ	連携企業等:	福岡県動物愛護センター
期間:	2023年5月28日(日)	対象:	教員・学生
内容:	センターの動物愛護事業や登録譲受団体の活動を広く知っていただくため開催		
研修名:	動物愛護フェスティバル	連携企業等:	どうぶつ愛護フェスティバル福岡実行委員会
期間:	2023年11月12日(日)	対象:	教員・学生
内容:	人もどうぶつも幸せになるためにペットのこについて学ぶイベント		
研修名:	ペット用品展示会	連携企業等:	九州ケンエル
期間:	2023年5月30日(火)	対象:	教員・学生
内容:	ペット用品の新商品やトリミング道具の展示会。新商品について取り扱い方など学ぶ。		

② 指導力の修得・向上のための研修等

研修名:	人権・同和研修	連携企業等:	福岡県・学事課、専修学校協会
期間:	2023年11月28日	対象:	教職員
内容:			
研修名:	人権・同和研修	連携企業等:	福岡県・学事課、専修学校協会
期間:	2024年2月予定	対象:	教職員
内容:			

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

自己評価の評価結果について、卒業生、企業等の関係団体、地域住民などの専門学校と密接に関係するものと理解促進や連携教育により学校運営の改善を図る。限られた時間を有効に活用するために、重点課題などを取り上げ、集中した審議を行っていく。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	学校の理念・目的・育成人材像
(2) 学校運営	目的等に沿った運営方針の策定
(3) 教育活動	キャリア教育の視点に立った教育方法などの実施
(4) 学修成果	キャリア形成の効果を把握し学校の教育活動の改善
(5) 学生支援	卒業後の進路に関する体制の整備
(6) 教育環境	教育上または安全の十分な施設・設備の整備
(7) 学生の受入れ募集	高等学校等接続する機関に対する情報提供等の取り組み
(8) 財務	目的・目標に照らした有効かつ妥当な中期計画的な年度予算
(9) 法令等の遵守	法令と設置基準等の遵守と適正な運営
(10) 社会貢献・地域貢献	社会貢献・地域貢献のための学校の教育資源や施設を活用
(11) 国際交流	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

自己評価と関係者評価の評価差異がどこにあるのか、異なる点を吟味することで、問題点を抽出する。当然、関係者評価が厳しい場合は、本校が行なっていることが伝わっていないか、評価されていない点だと真摯に受け止め、改善・改良を加えていくことに尽きる。今年度は全体的な決算を含めた状況報告の後、次年度の学園構想について、現在の取り組みや新たな学びの場について、それぞれ学校の責任者の立場から、関係者委員の方に向けてプレゼンを行った。参加委員からは賛辞の言葉も聞かれ、改めて、本校の教育方針に、ご賛同頂けたと感じた。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

名前	所属	任期	種別
平田 章裕	福岡県洋菓子協会	令和3年9月1日～ 令和5年8月31日(2年)	業界団体
荻田 英二	(株)荻田商業建築デザイン事務所	令和3年9月1日～ 令和5年8月31日(2年)	卒業生
田中 誠二	オリエンタルホテル福岡	令和3年9月1日～ 令和5年8月31日(2年)	卒業生
福島 眞祐	福岡市博多区博多駅前3丁目2区自治会	令和3年9月1日～ 令和5年8月31日(2年)	自治会長
藤 厚久	福岡県博多女子高等学校	令和3年9月1日～ 令和5年8月31日(2年)	学校長が必要と認められた者
藤井 亨	株式会社Too 福岡支店	令和3年9月1日～ 令和5年8月31日(2年)	学校長が必要と認められた者
小川 倫恵子	アミ・シュプール	令和3年9月1日～ 令和5年8月31日(2年)	卒業生
溝江 多佳子	株式会社イクティス	令和3年9月1日～ 令和5年8月31日(2年)	学校長が必要と認められた者
後藤 大輔	税理士法人アーク・パートナーズ	令和3年9月1日～ 令和5年8月31日(2年)	会計士
吉塚 正希	株式会社映像ボックス	令和3年9月1日～ 令和5年8月31日(2年)	卒業生

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ・広報誌等の刊行物・その他())

URL: <https://www.ksb.ac.jp/information.html>

公表時期: 令和5年10月31日

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

URL: <https://www.ksb.ac.jp/information.html>

公表時期: 令和5年10月31日

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	学校の教育・人材教養の目標・教育活動計画
(2) 各学科等の教育	カリキュラム、卒業生数、卒業後の進路
(3) 教職員	各教員の担当科目、校務分掌組織等、教職員の研修・研究活動
(4) キャリア教育・実践的職業教育	キャリア教育への取組状況
(5) 様々な教育活動・教育環境	学校・学科の行事(イベント)の取組とその評価結果
(6) 学生の生活支援	就職に関する体制、卒業生への支援体制
(7) 学生納付金・修学支援	学生納付金の取扱い
(8) 学校の財務	事業報告書
(9) 学校評価	自己評価・学校関係者評価の結果
(10) 国際連携の状況	
(11) その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

(ホームページ・広報誌等の刊行物・その他())

URL: <https://www.ksb.ac.jp/information.html>

公表時期: 令和5年10月31日

授業科目等の概要

(ビジネス専門課程 ペットビジネス学科)															
分類	授業科目名			授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
								講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
必修	選択必修	自由選択													
1	○		犬種学	各犬種を理解することで特徴・性格をつかみ犬の扱いをしやすくすること。	1・通	64	4	○			○			○	
2	○		愛玩動物飼養管理士2級	動物に関わる法律、歴史を学習。愛玩動物飼養管理士2級。現場で飼い主に適切な飼養管理や義務などを説明できるアドバイザーになる	1・通	64	4		○		○		○		
3	○		ペット美容概論	トリマーとしての基礎知識を学ぶ。写真を見ながらイメージを持つ。道具の名称と使い方、トリミング用語をマスターさせる。各犬種のスタンダードスタイルを覚える	1・前	32	2		○		○		○		
4	○		グルーミングベーシックA	時間を意識させ、一つ一つの作業の内容を理解する。キャバリアサイズの小型犬までは2人で1頭時間内に仕上げられるようにする。	1・前	64	4		○		○		○		
5	○		グルーミングベーシックB	グルーミング基礎を覚える。個々の体型や状態を把握できるだけの洞察力を付ける。	1・前	64	4		○		○		○		
6	○		カーミングシグナル	カーミングシグナルの種類と内容を理解する犬の観察眼。	1・前	32	2		○		○		○		
7	○		Office 基礎・演習	基本的なPCソフトの知識・技術の習得 基本的な操作法の習得から応用・実用法の習得	1・通	64	4		○		○		○		
8	○		サービス接遇	1、躰 ①挨拶 ②協力 2、基本習得(敬語) 3、傾聴 4、目標級に取得 5、合格を通して「人生の達成感」経験する 6、ビジネスシーンでの電話のかけ方対応のマナーを学ぶサービス接遇2	1通	64	4		○		○		○		
9	○		ホームルーム I	スケジュール確認・個人面談・進路相談。	1通	64	4	○			○		○		
10		○	キャリアガイダンス	①業界EXP0(就職活動)に向けた準備。 ②業界EXP0に向けた明確な目標の設定。 ③自己分析・企業のリストアップ。	1・通	64	4		○		○		○		
11		○	企業研修 I	学校で学んだ知識や技術を、企業の現場で体験し企業の人に実践の知識・技術を学ぶ。	1後	64	4		○			○	○		
12		○	企業研修II	学校で学んだ知識や技術を、企業の現場で体験し企業の人に実践の知識・技術を学ぶ。	1後	64	4		○			○	○		
13		○	猫学	猫を理解する。	2・通	64	4		○		○		○		

授業科目等の概要

(ビジネス専門課程 ペットビジネス学科)															
必 修	分類		授業科目名	授業科目概要	配 当 年 次 ・ 学 期	授 業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企 業 等 と の 連 携
	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
14		○	トリミングスタンダードA	各自仕上げる（犬種問わず）。仕上げの時間5時間以内。	2・前	128	8		○		○				
15		○	トリミングスタンダードB	各自仕上げる（犬種問わず）。仕上げの時間5時間以内。	2・前	128	8		○		○				
16		○	ドッグトレーニング	犬の問題行動の意味を考え、理解する。問題行動への対処法を理解し、行動する。	2・通	128	8		○		○				○
17		○	ドッグスポーツ	ルールを理解。犬の体づくりの基本。	2・通	128	8		○		○				○
18		○	ビヘイビアセラピスト	犬に合わせてコントロールする。	2・通	128	8		○		○				○
19		○	トリミングA	各就職先にあったトリミング技術の向上。犬種問わず仕上げの時間3時間以内。	2・後	128	8		○		○				○
20		○	トリミングB	各就職先にあったトリミング技術の向上。あらゆる犬種を扱える。犬種問わず仕上げの時間3時間以内。	2・後	128	8		○		○				○
21		○	キャットグルーミング	怪我をしない、させない。猫のグルーミングの楽しさを教える。猫の気持ちを表情・動作で理解できるようになる。	2・後	64	4		○		○				○
22		○	ドッグヘルスケア	ワクチン・寄生虫を中心に飼い主にアドバイスできる知識の習得	1・前	32	2		○		○				○
23		○	動物行動学	動物（犬）の本能行動と意味を理解する	1・通	64	4	○			○				○
24		○	ペットデッサン	犬のデッサンをすることで、カットの仕上がりのイメージを掴む。	1・前	32	2		○		○				○
25		○	ドッグトレーニングオビディエンス	トレーニング基礎を覚える。基礎訓練。	1・通	128	8		○		○				○
26		○	ドッグトレーニングベーシック	基本動作を理解している。犬それぞれの性格を理解し、コントロールしている。	1・後	64	4		○		○				○

授業科目等の概要

(ビジネス専門課程 ペットビジネス学科)															
必 修	分類		授業科目名	授業科目概要	配 当 年 次 ・ 学 期	授 業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実験・実習・実技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
27		○	ドッグスポーツベーシック	ドッグスポーツの種類と内容を理解。スポーツドッグの体作り。	1・後	64	4	○			○			○	
28		○	企業研修Ⅲ	学校で学んだ知識や技術を、企業の現場で体験し企業の人に実践の知識・技術を学ぶ。	1・後2・前	192	12	○			○	○			
29		○	企業研修Ⅳ	学校で学んだ知識や技術を、企業の現場で体験し企業の人に実践の知識・技術を学ぶ。	1・後2・前	192	12	○			○	○			
30		○	グルーミングベーシックC	グルーミング基礎を覚える。トリマーベーシック検定取得に向けた基礎訓練 道具の扱い方を覚える。	1・前	64	4	○			○		○		
31		○	トリミングベーシックA	小型犬の丸刈り。ベーシック検定を合格していない学生はグルーミング2ミリの丸刈りができるようになる。顔の形を理解させる。	1・後	128	8	○			○		○		
32		○	トリミングベーシックB	グルーミング検定合格関係なく体のカット、顔カットの大きな流れを理解する。教師の見本を見ながら大まかに形を作る。カットの面を揃えられるようになる。	1・後	128	8	○			○		○		
33		○	トリミングスタンダードC	カットの面を揃えられるようになる。怪我をさせないバリカンの当て方。	2・前	64	4	○			○		○		
34		○	トリミングC	各就職先にあったトリミング技術の向上。 個々の必要なレベルに合わせてスキルアップ	2・後	64	4	○			○		○		
35		○	トリミングスタンダードD	カットの面を揃えられるようになる。 怪我をさせないバリカンの当て方。	2・前	64	4	○			○		○		
36		○	トリミングD	各就職先にあったトリミング技術の向上。 個々の必要なレベルに合わせてスキルアップ	2・後	64	4	○			○		○		
37		○	企業研修Ⅴ	学校で学んだ知識や技術を、企業の現場で体験し企業の人に実践の知識・技術を学ぶ。	2・通	256	16	○			○	○			
38		○	企業研修Ⅵ	学校で学んだ知識や技術を、企業の現場で体験し企業の人に実践の知識・技術を学ぶ。	2・通	480	30	○			○	○			

授業科目等の概要

(ビジネス専門課程 ペットビジネス学科)															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
39		○	ホームルームⅡ	スケジュール確認・個人面談・進路相談。	2通	64	4	○			○		○		
40		○	スキルアップⅠ	基礎技術に於ける不明瞭な点を理解するためにペットの全体を確認する。	1・前	32	2	○			○		○		
41		○	スキルアップⅡ	基礎から応用に展開する上で、必要となるペットの様々な技術を理論的に理解していく。	2・前	32	2		○		○		○		
42		○	キャリアアップ	就職活動をするための面接など、技術の見せ方など参考資料を元に、プレゼンテーション能力を高めていく。	1・後	32	2		○		○		○		
43		○	特別補講	2年前期履修カリキュラムの復習・サポート授業実施。業界就職・修飾後のサポートオンライン留学の実施から個々の視野を広げる社会人教育。	2・後	32	2		○		○		○		
44		○	ワーキング・スタディ	学校で学んだ知識や技術を、企業の現場で体験し企業の人に実践の知識・技術を学ぶ。	1通 2通	384	24		○		○		○		
45		○	短期留学	受け入れ先による							○		○		
合計					44	科目	274 単位 (単位時間)								

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
卒業要件：卒業規程単位の取得等、卒業合格条件を満たすこと。	1学年の学期区分	2期
履修方法：各学期毎に行う試験、演習の成果、履修状況等を総合的に勘案して行う。	1学期の授業期間	16週

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。